

遺物からみた「過」

辛川あかり

はじめに

遺跡などから出土した遺物は、それらが製作・使用された時代やそれらの種類、性格などによって分類されることが多い。しかし、遺物はさまざまな情報をあわせもつことがあり、そのような遺物を「過」という文字を通してみたい。

●「過」の意味

「過」… ①すぎること。時間・空間を経ること。

②度がすぎること。

③おおげさなこと。

④あやまち。しくじり。

⑤つみ。とが。

⑥「過去」の略。

(『広辞苑』第4版 岩波出版)

「過」にはさまざまな意味があるが、今回はこれらの意味の中から特に②、④、⑥の意味に注目し、遺物から得られる多様な情報について紹介する。

1. 度がすぎる：他と大きく異なるもの、優れたもの

1-1. 技術力の高さ故、他と異なるもの [図1]

- ・同じ種類のモノのなかでも特に小さいもの

例) 貝製玉、縫い針：南方(済生会)遺跡

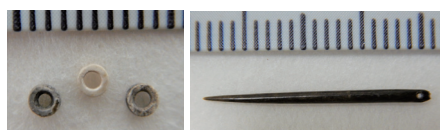


図1：貝製玉、縫い針

- ・文様が細かいもの、大きさ・形を忠実に再現した模倣品 [図2]

例) 銅剣形木製品：南方(済生会)遺跡

水滴、飾金具：岡山城三之外曲輪跡(中央中)

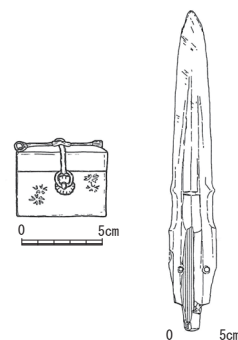


図2：水滴、銅剣形木製品

1-2. 特異なもの(モノの性格が他と大きく異なるもの)

- ・本来のモノより遥かに大きく/小さくつくられたもの

例) 戈形木製品：南方(済生会)遺跡

ミニチュア土器：南方(済生会)遺跡

1-3. 類例が少ない、または無いもの

- ・稀有な状況で出土したもの

例) 赤色顔料入り有蓋高坏：吉備津杉尾西遺跡

- ・モノ自体が貴重であるもの [図3]

例) 馬形帯鉤：伝榊山古墳

双翼式銅鏃：南方(済生会)遺跡

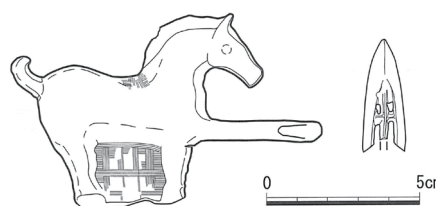


図3：馬形帯鉤、双翼式銅鏃

2. あやまち：失敗を物語るもの

モノの一生：生産→流通→使用→廃棄

2-1: 生産段階での失敗

- ・焼成不良品：歪み、溶着など【図4】
例) 平瓦：万富東大寺瓦窯跡
燈明皿・匣鉢、摺鉢：伊部南大窯
埴輪・陶棺：土井遺跡

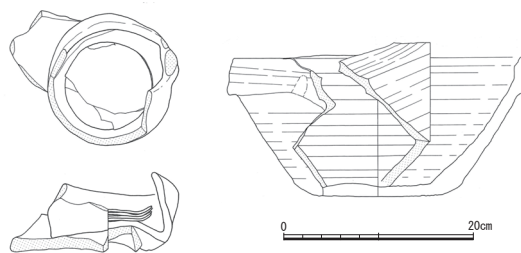


図4：備前焼の焼成不良品

- ・未製品：穿孔・成形時破損など【図5】

- 例) 管玉：南溝手遺跡
白玉・有孔円板：原尾島遺跡
環状石斧：赤田東遺跡
石包丁：津島遺跡

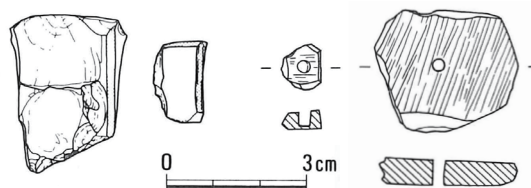


図5：管玉、白玉、有孔円板の未製品

2-2: 流通段階での失敗

- ・川揚がり、海揚がり
例) 瓦：吉井川川底（東区西大寺乙子沖）
備前焼：水の子岩海底遺跡（香川県小豆島沖）
陶磁器など：早崎水中遺跡（香川県豊島沖）



図6：白玉継ぎを施された磁器皿

2-3: 使用段階での失敗

- ・焼継ぎ：磁器【図6】
例) 白玉継ぎ：岡山城三之外曲輪跡（ハレノワ）

3. 「過去」の略：出来事の発生日・時期の特定ができるもの

○自然災害…地震、地滑り、津波、洪水、火山の噴火など

○火災…都市における火災、合戦、空襲など

- ・大村火事：宝永5(1708)年11月22日正午頃大村邸より出火。北東へ延焼、東西中島も焼き、川東岸へも飛び火。門田屋敷も焼き翌朝4時頃鎮火された。焼失家屋は計503軒を数える。
例) 溶着した磁器・備前焼：岡山城三之外曲輪跡【図7】



図7：溶着した磁器・備前焼

- ・岡山空襲：昭和20(1945)年6月29日の午前2時43分から4時7分にかけて、B29爆撃機138機が襲来し、約95,700発の焼夷弾を投下。現在のNTTクレド岡山ビル前の交差点が爆撃中心点とされ、岡山城天守を含む市街地の63%が焼失した。
例) 融解ガラス：岡山城三之外曲輪跡【図8】

・ガラスの軟化温度：550℃

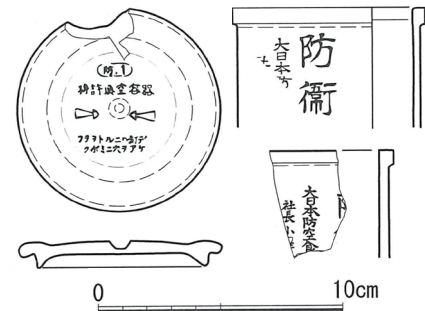
・磁器の軟化温度：1,100～1,400℃

『焼け跡もの語り』広島平和記念資料館



図8：軟化ガラス瓶

- ・ **第二次世界大戦**：昭和16年(1941)8月30日に公布され、9月1日に施行された勅令「金属類回収令」に法り、軍需生産の原料不足を補うため、鉄・銅製品を中心とした、あらゆる金属製品が回収された。廃品のみならず現用品も回収され、寺の梵鐘も供出された。これにより金属製品の代用品として、陶磁器やセルロイド、革製の製品が相次いで製造された。



例) 防衛食容器：岡山城三之外曲輪跡 [図9]

図9：防衛食容器

まとめ

☆出土遺物＝過去をものがたるもの

- ・ **度がすぎる**：同じ種類のなかで突出したもの／特異なもの

当時の製作技術や技法だけでなく、モノを製作した工人及び技術者集団と取引をしていた、もしくはその技能を有する人物及び集団が所属していた、その遺跡の社会的位置や性格を探ることが可能である。また、貴重なモノを直接または間接的に取得できた、遺跡に住まう集団の交易関係を知る一つのパーツとなりえる。さらに、遺跡内及び国内他遺跡での類似例の出土件数やその分布を探ることで、遺跡内及び国内においてその種の遺物がどのような価値を持つかについても考えることができる。

- ・ **あやまち**：さまざまのシーンでの失敗と工夫

モノが製作されている段階から、商品として社会に出回り廃棄されるまでの各段階・各場面における、モノに関わる人々の失敗と経験、それを改善しようとして行う工夫や、そのモノがつくられてから廃棄に至るまでのモノ自体の経歴を知ることができる。同時に製作方法や技法、製作手順、運搬手段と経路などの情報を取得することもできる。さらには、その遺物を使用されていた時代や場所の背景などとあわせて考えることで、その遺物を使用していた人々がどのような価値観のもと暮らしていたのかを探る一端にもなりえる。

- ・ **「過去」の略**：地中にのこる教訓

都市における大火災や、大火災を伴う合戦や空襲などは、その後片づけが行われるとしても罹災したモノが被災場所から遠くない場所に残ることが多い。一方で、津波や洪水などの自然災害による罹災遺物は、構造物と共に押し流されたり、堆積物と共に片づけられて元の位置から大きく場所が動いていたりし、時期や遺構との関係性が不明確になることが多い。しかしながら、遺構や土層には災害痕跡は明確に残り、百間川米田遺跡（岡山市）、上東遺跡（倉敷市）総社遺跡（総社市）、馬場崎遺跡（瀬戸内市）では噴砂の痕跡が、岡山城城下町では洪水砂が至る所で確認されている。

このような自然災害痕跡からは、その土地の過去の罹災による地盤の変化と、地盤の特性を知ることができる。また、文字のない時代に起きた災害や、文字資料としての記述がない災害についても知ることができ、今後の災害対策として、液状化しやすい地区や氾濫が起きる可能性のある地点をあらかじめ認知しておくことも可能となる。

《図出典・参考文献》

- 1-1: 扇崎由 2005『南方（済生会）遺跡—木器編—』岡山市教育委員会
神谷正義 2008「第1次調査（北校舎調査区）」『岡山城三之外曲輪跡・旧岡山藩藩学跡』岡山市教育委員会
- 1-2: 扇崎由 2005『南方（済生会）遺跡—木器編—』岡山市教育委員会
- 1-3: 安川満編 2010『吉備津杉尾西遺跡・吉備津奥田遺跡』岡山市教育委員会
徳田誠志ほか 2015「宮内庁書陵部所蔵の千足古墳関係出土品報告」『千足古墳』岡山市教育委員会
安川満 2018「南方遺跡出土の双翼式銅鏃について」『南方遺跡』（第3分冊）岡山市教育委員会
- 2-1: 石井啓・小西道雄 2006「伊部南大塚跡周辺塚跡確認調査報告書」Ⅱ『備前市埋蔵文化財発掘調査報告』7 備前市教育委員会
石井啓・岩崎紅美 2008「国指定史跡伊部南大塚跡発掘調査報告書」『備前市埋蔵文化財発掘調査報告』8 備前市教育委員会
重根弘和編 2005「土井遺跡・谷の前遺跡・慶運寺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』191 岡山県教育委員会
平井康男・久保恵里子 1996「南溝手遺跡2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』107 岡山県教育委員会岡山県教育委員会
宇垣匡雅・島崎東 1999「原尾島遺跡（藤原光町3丁目地区）」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』139 岡山県教育委員会
草原孝典・西田和浩 2005『赤田東遺跡』岡山市教育委員会
平井勝ほか 2000「津島遺跡2」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』151 岡山県教育委員会
深田浩ほか 2004「古代出雲における玉作の研究Ⅰ」『島根県古代文化センター調査研究報告』22 島根県古代文化センター
- 2-2: 石原渉 2013「水の子岩海底遺跡」『季刊考古学』第123号 雄山閣
貝原靖浩 2004「水の子岩海底遺跡」『津々浦々をめぐる—中世瀬戸内の交通と交流—』兵庫・岡山・広島三県合同企画展実行委員会
葛原克人編 1978「水ノ子岩学術調査報告」『海底の古備前』山陽新聞社
山陽新聞社編 1978『海底の古備前』山陽新聞社
鈴木康之 2004「早崎水中遺跡」『津々浦々をめぐる—中世瀬戸内の交通と交流—』兵庫・岡山・広島三県合同企画展実行委員会
陶守三思郎 1943「上陸備前」『古陶器銘品図録』古陶器銘品図録刊行会
備前市教育委員会 2013『運ぶ～やきものは誰が商い、誰が運ぶのか～』備前市教育委員会
- 2-3: 乗岡実 2002『岡山城三之外曲輪跡』岡山市教育委員会
喜田川季壯尾張部守貞著「瀬戸物焼接」『守貞謄稿』第六卷
三谷一馬 1979「焼きつぎ屋」『江戸物売図聚』立風書房
- 3 大村火事：河田健司 2022『岡山城三之外曲輪跡』岡山市教育委員会
斎藤一興輯録 1963『池田家履歴略記』上巻 日本文教出版
- 岡山空襲：工藤洋三 2018「焼夷空襲理論と試験的な空襲」『第41回岡山戦災の記録と写真展 空襲はいかにして行われたか、1941-1945』岡山市
- 防衛食容器：安川満 2008「第2次調査（体育館・特別教室棟調査区）」『岡山城三之外曲輪跡・旧岡山藩藩学跡』岡山市教育委員会
- 自然災害：亀山行雄・物部茂樹 2020「馬場崎遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』251 岡山県教育委員会
神戸市教育委員会 1997『発掘された日本列島'97 地域展示 特別展 ひょうご復興の街から』神戸市教育委員会
下澤公明編 2001「下庄遺跡・上東遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』157 岡山県教育委員会
高槻教育委員会 2001『史跡・今城塚古墳—平成12年度・第4次規模確認調査—』高槻市教育委員会
安田磁編 1995『西求女塚古墳 第5次・第7次発掘調査概報』神戸市教育委員会
渡邊恵里子編 2007「総社遺跡・金井戸遺跡・北溝手遺跡」『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』209 岡山県教育委員会